

# 困ったときには 学生・職員相談室を ご利用ください

学生・職員相談室長（大学院ソシオテクノサイエンス研究所）  
本仲 純子 もとなかじゅんこ

学生相談室・職員相談室は学生さんと教職員の皆さんのための「相談室」です。相談室には受付担当職員と2名の専任カウンセラー（臨床心理士）が常駐していて、緊急時にも対応できます。相談内容により、法律専門家やカウンセラー、学生相談員、職員相談員、人権問題相談員が相談に応じます。また、保健管理センターや就職支援室などとも連携し、問題解決のための対応をはかります。個人の秘密は守られますので、困った事があれば、どこかお気軽にご利用ください。

## こころ豊かな学生生活を応援します

学生相談室は、学生の皆さんの様々な悩み・問題、心配ごとを解決するのを手伝います。進路や就職に関する悩み、修学や履修上での疑問点、セクハラ・アカハラ・

パワハラなどのハラスメント問題、友達や家族などとの人間関係の悩み、学生生活面でのトラブルや悩みなど多種多様な相談に応じます。また、周囲の教職員や家族や友人などが、どのように学生さんを支援したらよいかといった相談も受けています。学生相談室は、皆さんが学生生活をこころ豊かに充実して送れるようサポートします。

## 教職員の皆さんが安心して働けるよう支援します

職員相談室は、教職員の方々が良い環境で働くために、相談に乗り問題解決の協力をいたします。就業環境、人間関係、性格や心の健康など精神的な



カウンセリングルーム

## 年間プログラム

4月	コミュニケーションスキル「心で聴く」
5月	友達の輪を広げよう（自己開示）
6月	コラージュで自己表現しよう
7月	いろんな気持ち・心のストレッチ
8月	※エンカウンター・グループ
9月	歌を楽しもう！
10月	絵本を読もう（ほっと一息）
11月	アサーションを学ぼう
12月	あったかクリスマス（粘土作りと歌）
1月	四季を表現しよう（グループ・コラージュ）
2月	詩を味わう（感受性の促進）
3月	私への贈り物（オリジナルカード作り）

## 豊かな自己を育むためのプログラム

相談室では、心理テスト、絵画療



悩み、人権問題など、就労上生じる様々な問題の相談に対応し、皆さんに最もふさわしい解決策をともに考えます。

法、箱庭療法、コラージュ、ほっとの会、エンカウンター・グループなどを実施しています。自己の発見、アイデンティティの探求、人間関係能力を育む場として、学生相談室とその企画を充分にご利用ください。

## グループ活動「ほっとの会」

学生相談室では毎月第3木曜日の午後に、グループ活動「ほっとの会」を実施しています。学生さんが学部や学年を超えて相互に交流できる楽しい場となっています。年間を通して次のようなテーマで実施しています。

## キャンパスの「ほっとルーム」 学生・職員相談室 利用案内

ご利用は、直接来室するか、電話またはメールでお申し込みください。  
TEL：088-656-7637  
E-mail：gkseisod@jim.tokushima-u.ac.jp

●常三島キャンパス 〈学生相談室〉 共通教育5号館1階西側  
利用時間：月～金 9：30～17：30

●蔵本キャンパス 〈分室〉 蔵本会館2階  
利用時間：火 13：30～17：30

※火曜日午後以外でも予約をすれば利用できます。

## とくtalkへのご意見

●地域に開かれた大学として、徳大ニュースに掲載の「地元気再生事業」や「オープンキャンパス」など様々取り組みが掲載されていますが、徳島大学の魅力としてこれらの取り組みの特集記事なども取り上げてはいかがでしょうか。→ご提案ありがとうございます。 「とくtalk」で毎月企画している特集の中には、毎年特定の号でほぼ固定されている内容もあります。しかしながら、御提案いただいた内容につきましても、これまでにない企画という意味で、今後の編集・企画において前向きに検討させていただき、可能であれば御意見をとり入れた特集を組めればと考えております。

●10年以上前の、編集基本方針の5項目を毎月、満足させるのは、紙面の関係で無理ではないでしょうか。年間で満足させるように、毎月どれか項目を絞られては如何でしょうか。→ご提案いただきありがとうございます。 徳大広報編集専門委員会では、現在、「とくtalk」の編集方針について議論を重ねております。御提案いただきました内容についても、毎年特定の号で、その出版時期に間に合うトピックな記事の掲載という形で実現できないかを、現在検討中です。

## 「取材」

工学部光応用工学セミナー（前期）Ⅱ（後期）  
大学院ソシオテクノサイエンス研究所

- 手塚美彦 てつかよしひこ
- 森篤史 もりあつし
- 山本裕紹 やまもとひろつぐ
- 岡本敏弘 おかもととしひろ
- 岡博之 おかひろゆき
- 柳谷伸一郎 やなぎやしんいちろう

# チームワークで楽しく実りある授業を

今までこのコーナーで紹介した中で、初めて複数の先生による授業の登場です。学生にいかに関心する役に立つ授業を提供するかという課題を模索する中で、光応用工学科の先生たちの出した試みが、「光」を応用した作品づくりをプロジェクトで行ったものでした。



ホールカメラを作りました。その他にも分光器や望遠鏡の製作など、作品づくりを通じて光の性質が理解できるように工夫しています。また、泊りがけの合宿で一つの作品を完成させるといふプロジェクト形式の授業を五年間続けています。

後期は「光」に電気や化学の要素を取り入れた作品づくりを行っています。取材当日は、手塚先生と桑原技術職員の指導のもと、数人のグループに分かれてCDプレーヤーの製作をしていました。ということも光源にLEDを使ったごく基本的なもので、透明の円盤に自分たちで信号を書き込みそれをフォトダイオードで読み取って、簡単なメロディーを奏でるというものです。

と答えてくれたのは、セミナーを取りまとめた山本先生。

前期は光学をテーマにした作品。例えば、段ボール箱を使ってピン

分子模型の作製をテーマにして

「分子は教科書では平面的にしか描かれていませんが、本来は立体的で

## 受講生の声

1年生から楽しい授業をしてもらってやりがいがありますし、実験や製作がうまくいったときの達成感が良い思い出になります。



徳島大学の教育力  
魅力ある授業

## 特集「学生生活の昔と今」を読んで



- 昔と今で、考え方、学生生活での相違、共通点がよく分かった。現代学生からは想像できないような実態がよくわかり面白かった。
- 今昔の状況がよくわかりました。データなども示されていて良かったのですが当時の写真がもっと欲しかった。
- 学生生活の昔と今について、アルバイトの職種が現在は非常に多様化してきているのを知り、学生生活としては複雑な気持ちでした。

- 興味ある特集でした。もう少し古い写真があればなお懐かしかったかも知れません。（徳大の卒業生としては）
- 学生生活の昔と今を話すには紙面が限られている。学生生活を中心とした先輩諸氏の思い出などを取り込めればより良かった。